

2025.12.1-2026.3.31 青森県・函館観光キャンペーン

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 ⇄ 函館

AOMORI

HAKODATE

あおもり紀行
特別版



JR
JR東日本

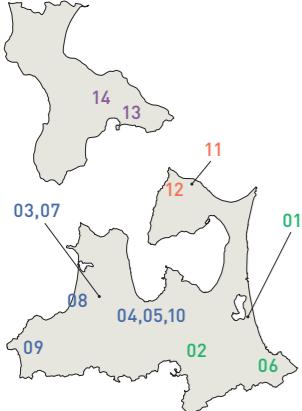
JR
JR北海道

Amazing
AOMORI

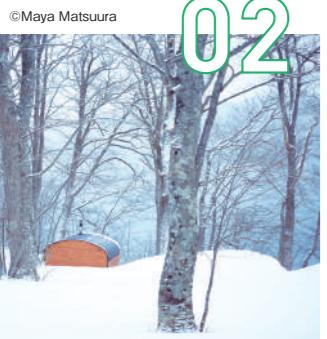
北海道新幹線開業10周年
15周年
東北新幹線全線開業15周年

この冬はわがままに 北の幸せ、めいっぱい

北国の雪を遊ぶ 今しかできない アクティビティ



雪深い冬の季節だからこそ楽しめる、とておきの体験を。美しい白銀世界に没入しよう



十和田湖畔で極上のリラックスタイム

ロシア製バーレルサウナで身体の芯まで温まつたら、雪景色広がる十和田湖へ(水温1℃~5℃)。非日常の“ととのい”をどうぞ。

雪深き温泉地でこころを鎮める

ときには厳しい雪も降る冬の屋外で、凜とした空気に包まれながら坐禅体験。心と体で「北国の冬」を感じた後は温泉で温まろう。

極寒坐禅会
ごっかんざんかい
017-738-6400 (酸ヶ湯温泉旅館) / JR奥羽本線青森駅よりバスで約70分

02

十和田市
十和田サウナ
info@towadasauna.com / JR東北新幹線八戸駅より車で約100分

五所川原市
奥津軽トレイル
スノートレッキング
おくつがるトレール
スノートレッキング
0173-52-2882 (かなんぎ元気村) / 津軽鉄道金木駅から車で約10分

01

氷結の宝湖で遊ぶ冬の冒険

青森県で最も大きな湖・小川原湖は、淡水と海水が混じり合う汽水湖。シジミやワカサギなど、さまざまな水産物に恵まれているのが、古くから「宝湖」と呼ばれる理由。冬になると湖面は一面の氷に覆われ、景色は一変。美しさとともに、特別な体験をもたらしてくれる。氷上を歩きながら雪原の静けさを味わう氷上ウォーク、凍った湖面に穴を開けて楽しむワカサギ釣り(姉沼)、氷の隙間から氷上に繋り出すアイスカヤックと、多彩なアクティビティが用意されている。大自然の雄大さと湖の恵みが織りなすこの地でしか味わえない時間は、冬の小川原湖ならではの贅沢なひととき。



小川原湖 氷上アクティビティ
おがわらこ ひょうじょう
アクティビティ
0176-59-2311 (三沢市
観光協会) / 青い森鉄道三沢
駅より車で約25分

03

雪原を歩き、冬の恵みに出会う

酸ヶ湯温泉の雪原を歩くスノーシュートレッキングと地元の風土や食文化を一度に楽しめる冬限定プログラム。



04

五所川原市
奥津軽の大雪原と
青森ひばの森へ

雪遊びアイテム「スノーハイク」や「スノーシュー」を活用して津軽平野&ひばの森をトレッキング。

Winter Bites
ウインターバイツ
017-718-8557 (フォーライド) / JR奥羽本線
青森駅よりバスで約70分

05

冬の海岸線を歩く 絶景トレイル

八戸市から福島県相馬市まで続く全長1,000kmを超えるロングトレイル。澄んだ冬の空気が絶景を際立たせる。

八戸市・階上町
みちのく潮風トレイル
みちのくしおかぜトレイル
0178-51-8500 (種差海岸インフォメーションセンター) / JR八戸線種差海岸駅より徒歩で約5分

06



07

雪上を駆け抜ける新感覚ライド

専用タイヤを装着した自転車で五所川原市飯詰地区の雪原を疾走。スキーともスノボとも違う、冬の雪遊び。

五所川原市
スノーサイクル
スノーサイクル
0173-35-2111 (五所川原市商工観光課) / JR五能線五所川原駅より車で約13分



09

静寂の森と“黒い青池”に出会う

冬だけ黒く染まる青池を目指し白神山地を雪中ハイク。白銀の森で動物の足跡を探しながら自然の神秘を体感。

深浦町
十二湖スノーハイク
じゅうにこスノーハイク
0173-77-3311 (アオーネ白
神十二湖) / JR五能線十二湖駅
より送迎バスで約5分



10

ヒバの森を歩く癒しの雪旅

下北半島を盛り上げる「マグ女」発の体験プログラム。マグ女をガイドに雪道を歩いた後は温泉へ。

むつ市
スノーシューハイキング
スノーシューハイキング
017-72-6705 (また旅くらぶ) /
JR奥羽本線青森駅よりバスで約70分

静寂に包まれるブナの雪森
名湯・酸ヶ湯温泉に広がる雪森をガイドと一緒に散策。凜とした空気とブナ林の美しさで静寂に浸る体験を。

青森市
酸ヶ湯スノーシューハイキング
すかゆスノーシューハイキング
0176-67-0501 (また旅くらぶ) /
JR奥羽本線青森駅より車で約70分

12



13

清流を満喫する冬のカヌー体験

函館湯の川温泉の奥に位置する汐泊川を川下り。雪景色の中を静かに漕ぎ進めば、自然との一体感を楽しめる。

函館市
汐泊川カナディアンカヌー川下り
しおどまりがわカナディアンカヌーかわくだり
080-9615-0331 (HAKODATE ADVENTURE TOUR) / JR函館本線函館駅より車で約30分

14

凍った湖を進む幻想のそり旅

大沼湖の氷上を大きなそりで進み、点在する島々をめぐるツアー。大沼湖の絶景パノラマビューを堪能。

七飯町
氷上島巡り そりツアー
ひょうじょうしまぐり そりツアー
0138-67-2229 (大沼合同遊船) / JR函館本線大沼公園駅より徒歩で約7分
※2026年1月下旬~2月末

青森県のおすすめスキー場

岩木山を望む爽快スキー場

津軽富士・岩木山を正面に滑走できる絶景ゲレンデ。多彩なコースで家族から上級者まで楽しめる。

スプリングスキー場
スプリングスキー場
0173-72-1012 / JR五能線鰹ヶ沢駅より車で約20分

子どもも大人も我を忘れる雪の遊び場

初心者やファミリーに人気のゲレンデ。そり遊びや雪だるま作りなど、気軽に雪と触れ合えるスポット。

創造村229スキー場
そうゆうむら229スキー場
0179-32-2100 / JR東北新幹線二戸駅より車で約50分

ローカルに愛される小さなゲレンデ

初心者や子どもたちの遊び場。みどりの大地とロマンの森公園スキー場
みどりのいちとロマンのもりこうえんスキーじょう
0175-63-4848 (12月20日~2026年3月1日以外は) 0176-56-4148 東北町役場商工観光課 / 青い森鉄道乙供駅より徒歩で約15分

つがる地球村
つがるちゅうくむら
つがる市
つがるちゅうくし
つがるちゅうく

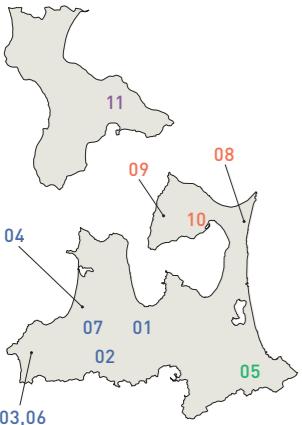
08

雪に包まれた「ゲル」で優雅な滞在

モンゴル遊牧民の移動式住居「ゲル」に泊まり、薪ストーブで暖まる。雪原の静寂を五感で味わえる冬限定体験。



雪が生み出す 自然の美しさ 今しか見られない 絶景



どうしても一度は見ておきた
い、心を震わせる奇跡的な風
景を一生ものの思い出に



八甲田の樹氷
はっこうだのじゅひょう
☎ 017-738-0343 (八甲田ロープウェー) /
JR奥羽本線青森駅よりバスで約80分



雪に映える江戸情緒の 木造アーケード

雪景色に黒い木造のアーケード「こみせ」が美しく映える黒石の冬。江戸時代から続く情緒ある街並みを散策。

中町こみせ通り
なかまちこみせどおり
☎ 0172-52-3488 (黒石観光協会) / 弘南鉄道黒石駅より徒歩で約10分



03

ひょうたん形の 絶景露天風呂

日本海と一体になったようないょうたん形の露天風呂。冬の荒波と雪景色を眺めながら入る湯は格別。

黄金崎不老ふ死温泉
こがねざきふろうふしおんせん
☎ 0173-74-3500 / JR五能線ウェスパ椿山駅より車で約5分または送迎バス



雪原に続く千本鳥居の神秘

真っ白な雪の中に朱色の鳥居が連なる圧巻の光景。冬の澄んだ空気に映える景観は、幻想的な雰囲気を醸し出す。

高山稲荷神社 たかやまいなりじんじゃ
☎ 0173-56-2015 (高山稲荷神社) / JR五能線五所川原駅よりタクシーで約30分、またはバスで約40分(高山神社入口下車後タクシーで約5分) ※五所川原駅からのご案内は五所川原市観光協会(五所川原駅隣) ☎ 0173-38-1515)へ

01

雪と風が創る“スノーモンスター”

冬の八甲田連峰では、シベリアから吹きつける強風と豪雪がアオモリトドマツの木を包み込み、巨大な氷雪の造形「樹氷」を生み出す。別名「スノーモンスター」とも呼ばれるこの風景は、青森の冬を象徴する絶景。八甲田ロープウェーに乗れば、眼下に広がる真っ白な樹氷原を一望。また、ガイド付きスノーシュートラベルでは、迫力ある樹氷を間近で体感。光と影で表情を変える樹氷群は、訪れる時間帯によっても違った美しさを見せる。厳しい寒さと雪が生み出す、まさに“今しか見られない”自然の芸術作品。

文人たちを魅了した光と海の絶景

八戸市の種差海岸は、荒々しい岩礁と芝生地が広がる海岸美で知られ、作家の司馬遼太郎や画家の東山魁夷をも魅了。特に冬の夜明け、水平線から昇る朝日は、冷たい海を金色に染め上げ、静寂に包まれた景観が一変。雪と朝日のコントラストは、この季節だけの感動的な瞬間。

種差海岸の朝日 たねさかいかんのあさひ
☎ 0178-51-8500 (種差海岸インフォメーションセンター) / JR八戸線駅より徒歩で約10分

05



白銀に架かる 日本一長い木造三連太鼓橋

全長300mの木造橋が雪景色に映える姿は圧巻。冬の津軽富士・岩木山を背景に、静かな湖面に美しく浮かぶ。

鶴の舞橋 つるのみあはし
☎ 0173-22-2111 (鶴田町役場商工観光課) / JR五能線陸奥鶴田駅より車で約15分
※2026年3月31日まで通行止め。橋の見学は可能



雪に彩られる雪岩の舞台

夕陽の名所としても知られる、波に削られた奇岩が広がる千畳敷。白雪に包まれた海岸線近くの岸壁には、写真のような「氷のカーテン」が出現することもある。

千畳敷海岸 せんじょうじかいがん
☎ 0173-82-0875 (深浦町観光協会) / JR五能線千畳敷駅より徒歩で約1分

07



雪が映す白亜の奇岩群

奇岩が林立する仏ヶ浦。冬は雪化粧が加わり、海の青と白のコントラストが生み出す絶景は息をのむ美しさ。

仏ヶ浦 ほとけがうら
☎ 0175-38-2111 (佐井村役場) / JR大湊線下北駅より車で約100分



09



08

風雪に たたずむ 野生馬の迫力

馬が放牧されている本州最北東端の岬、尻屋崎周辺の牧草地。極寒の雪原にじっと佇む寒立馬のシルエットはなんとも力強い。

東通村

尻屋崎の寒立馬 しりやざきのかんだいちめ
☎ 0175-27-2111 (東通村商工観光課) / JR大湊線下北駅より車で約40分



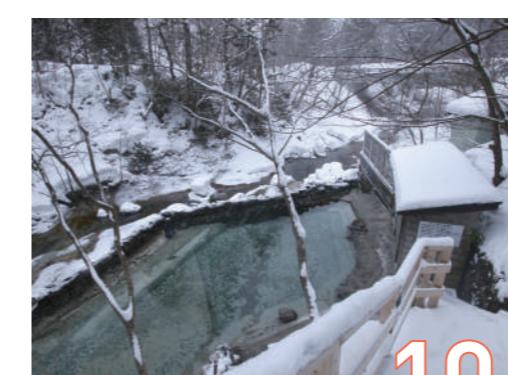
11

大沼と駒ヶ岳を望む絶景ゲレンデ

全長4kmのロングコースが魅力のスキー場。天気が良い日の山頂からは大沼と駒ヶ岳、噴火湾まで見渡せる。

七飯町

函館七飯スノーパーク
はこだてななえスノーパーク
☎ 0138-67-3355 / JR函館本線大沼公園駅より車で約15分



10

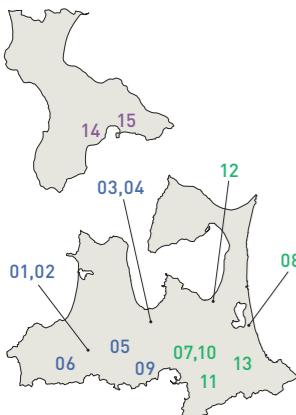
雪見露天で癒される 秘湯

ブナやヒバの木に囲まれた渓谷の温泉郷。雪に包まれた露天風呂に浸かれば、幻想的な冬景色と温泉のぬくもりに癒される。

むつ市

薬研温泉 やげんおんせん
☎ 0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課) / JR大湊線下北駅より車で約40分

雪と光の競演 美しいライトアップに 目も心も奪われる



漆黒の夜に灯る雪と光の舞台。
幻想的な光景に包まれれば、冬の旅がもっと特別に



01

冬に咲くさくら ライトアップ ふゆにさくさくら ライトアップ

0172-37-5501 (弘前市立観光館) /
JR奥羽本線弘前駅からバスで約15分
※2025年12月1日~2026年2月28日
(弘前公園追手門付近外濠)

雪と光に包まる 弘前城

約150基の雪燈籠や雪像、そして約300基のミニカマクラ。それらに灯るやさしいあかりが、冬の弘前を彩る。

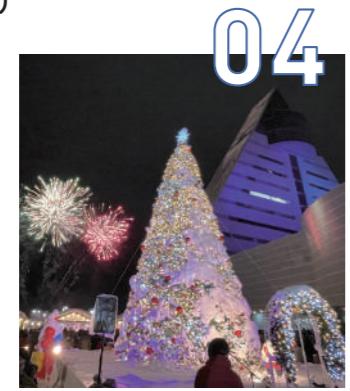
弘前城雪燈籠まつり
ひろさきじょうゆきどうろうまつり
0172-37-5501 (弘前市立観光館) / 弘前公園 JR奥羽本線弘前駅からバスで約15分
※2026年2月6日~11日

02

北国に灯るクリスマスの温もり

青森県のランドマーク「アスピア」で開催する、青森ならではのクリスマスイベント。高さ約10mの大型クリスマスツリーには、約2万球のLED電球も飾られ、会場では青森らしさあふれるクリスマスフードも。

クリスマスマーケット
inアスピア
クリスマスマーケット インアスピア
017-722-5080 (青森県観光国際交流機構) / JR奥羽本線青森駅より徒歩で約10分 ※2025年12月12日~25日



05

真っ白なキャンバスに 描かれる光

雪原を一步一歩踏みしめて描いた巨大アートをライトアップ。夏の田んぼアートと並び、田舎館村の冬の名物。

冬の田んぼアート
ふゆのたんぼアート
0172-58-2111 (田舎館村企画観光課) / 弘南鉄道田んぼアート駅より徒歩で約1分 ※2026年1月23日~25日



01

雪に浮かぶ“冬桜”的幻想

日本一の桜の名所として知られ、春には約2,600本の桜の木が咲き誇る弘前公園。その歴史は、弘前藩主が江戸からソメイヨシノの苗木を持ち帰り植えたことに始まり、今も樹齢100年を超える古木が公園を彩っている。冬の夜には、その桜の木の枝に積もった雪が桜色のライトに照らされ、まるで春が訪れたかのようにピンクに染まるライトアップイベントを開催。雪景色に浮かび上がる幻想的な「冬桜」は、訪れる人の心を温める弘前ならではの冬の風物詩。四季を通じて桜とともに歩んできた街の物語が、冬にしか出会えない光景として輝く。

03

冬の青森の魅力がたっぷり

青森開港400年をイメージした「冬のミニねぶた展示」をはじめコンテンツが盛りだくさん。2月14日には食・酒を堪能できる「青森夜市」の開催や、ねぶたの家ワ・ラッセのホールが一夜限りのディスコ会場に!



あおもり冬のワンダーランド
あおもりふゆのワンダーランド
017-723-7211 (青森観光コンベンション協会) / 青い海公園 JR奥羽本線青森駅より徒歩で約10分 ※2025年12月12日~2026年2月15日

氷瀑を彩る光のアート

高さ33mの乳穂ヶ滝が凍りついた氷瀑に光が当たり、青や白に輝く。自然美とライトアップが融合した幻想空間。

乳穂ヶ滝ライトアップ
におがたきライトアップ
0172-85-2800 (西目屋村役場) / JR奥羽本線弘前駅より車で約40分 ※2026年2月1日~15日



06

氷の造形が魅了する、奥入瀬の冬

滝や湧き水が凍り、雪とともに織りなす自然の造形美、奥入瀬の「氷瀑」。夜のライトアップや、地元のガイドとともにめぐる「冬の奥入瀬渓流氷瀑ツアー」なども実施。

十和田市
奥入瀬渓流の氷瀑
おいらせけいりゅうのひょうばく
0176-24-3006 (十和田奥入瀬観光機構) / JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約60分



08

和の灯りが彩る温泉宿

ねぶた雪灯りやねぶり流し灯篭をはじめ、青森屋の全体がまるで光のお祭りのよう。

三沢市
青森屋by星野リゾート
あおもりやバイほしのリゾート
050-3134-8094 / 青い森鉄道三沢駅より徒歩で約15分



09

街を彩る光の散歩道

美しいLEDライトと友好都市「台中市」の彩りが息づく7色の鮮やかな台湾提灯が街の景色を変える。

平川市
平川イルミネーションプロムナード
ひらかわイルミネーションプロムナード
0172-55-5732 (平川市経済部商工観光課) / 平川市役所本庁舎ほか 弘南鉄道平賀駅より徒歩すぐ



12

のへじ停車場ランタンまつり

雪のランタンが並び幻想の駅舎を演出。参加自由の手作りの灯りが、凍える夜に温かな癒しを届ける。

野辺地町
のへじ停車場ランタンまつり
のへじていしゃばランタンまつり
0175-64-9555 (野辺地町観光協会) / 野辺地町觀光物産PRセンター 青い森鉄道野辺地駅より徒歩すぐ ※2026年2月7日(予定)

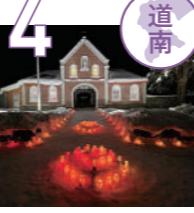


13

商店街に広がる冬の彩り

五戸町中心部の商店街が、地域の人々の有志で飾った色とりどりのイルミネーションで輝く。

五戸町
Town'sイルミネーション
タウンズイルミネーション
0178-62-7155 (五戸町観光協会) / 五戸町図書館前芝生広場など JR東北新幹線八戸駅より車で約30分

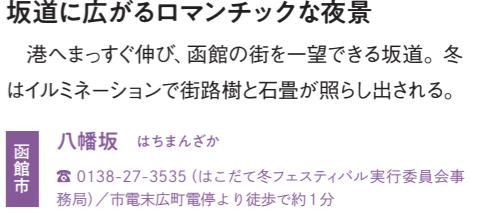


14

静寂の中に灯るあたたかい光

トラピスト修道院正門へと続く約400mの並木道がライトアップ。12月24日はキャンドルの設置も。

北斗市
北斗光回廊～トラピスト通り並木道ライトアップ～ほくごひかりかいろう～トラピスト～おりなみきみちライトアップ～
0138-73-3111 (石別地区観光推進事業実行委員会事務局) / JR北海道新幹線函館北斗駅から車で約30分 ※12月17日~12月24日



15

坂道に広がるロマンチックな夜景

港へまっすぐ伸び、函館の街を一望できる坂道。冬はイルミネーションで街路樹と石畳が照らし出される。

八幡坂 はまんざか
0138-27-3535 (はこだて冬フェスティバル実行委員会事務局) / 市電末広町電停より徒歩で約1分



07

光に包まれる現代アートの街

十和田市現代美術館アート広場が光の演出で神秘的な空間に。アートと雪と光が融合した特別な冬のひととき。



10

公園に広がる 光のファンタジー

「キリストの墓」で知られる新郷村に、冬は幻想的なイルミネーションが登場。村全体を温かく彩る。



新郷村
しんごうホワイト イルミネーション しんごうホワイト イルミネーション
0178-78-2111 (新郷村役場 企画商工観光課) / 金ヶ沢農村公園 JR東北新幹線八戸駅より車で約40分 ※2025年12月6日~2026年1月下旬

0138-51-4785 (五稜星の夢実行委員会・五稜郭タワー)
※12月1日~2026年2月28日



11

五稜郭も
ライトアップ!
「五稜星の夢」

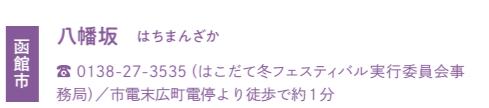


15

坂道に広がるロマンチックな夜景

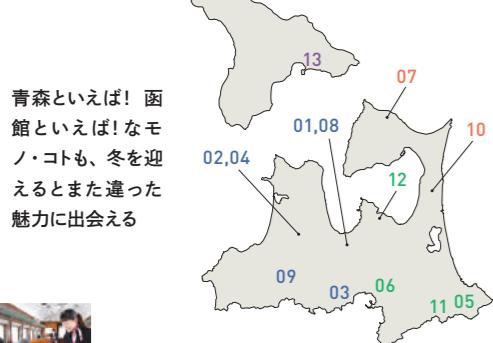
港へまっすぐ伸び、函館の街を一望できる坂道。冬はイルミネーションで街路樹と石畳が照らし出される。

八幡坂 はまんざか
0138-27-3535 (はこだて冬フェスティバル実行委員会事務局) / 市電末広町電停より徒歩で約1分



15

いま訪れたい 定番スポット・グルメ 冬のお楽しみ



レトロ列車でぬくもりの旅

ダルマストーブを積んだ列車が地吹雪の津軽平野を走る。ストーブでスルメを炙れば、タイムスリップしたような鉄道時間に。

津軽鉄道ストーブ列車
つがるてつどうストーブれっしゃ
☎ 0173-34-2148 (津軽鉄道) / 津軽鉄道五所川原駅より発着

早起きして日本最大級の朝市へ

太平洋をのぞむ館鼻岸壁では毎週日曜日の朝に全長約800m、約300店の巨大朝市が出現。八戸の海産物・農産物だけでなく、県内から出店が集まる。

館鼻岸壁朝市 たてはながんべあさいち
☎ 070-2004-6524 (毎日曜朝市会事務局・友宏水産 鶴ヶ崎)
JR八戸線陸奥湊駅より徒歩で約10分



アートと街が一体となる空間

美術館だけなくまち中にも草間彌生などの作品が点在。北海道を拠点に活動する彫刻家・国松希根太の美術館で初の個展を12月13日から2026年5月10日まで開催。

十和田市現代美術館
とわだしけんだいびじゅつかん
☎ 0176-20-1127 / JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約20分



01

雪原に浮かぶ白い美術館

奈良美智の「あおもり犬」も雪をかぶり、美術館の白い建築も雪と一緒に一体化したような佇まいに。館内にあるマルク・シャガールによるパレエ「アレコ」の背景画全4点(縦約9m×横約15m)も必見。アート県とよばれる青森の象徴的な美術館。

青森県立美術館
あおもりけんりつびじゅつかん
☎ 017-783-3000 / JR奥羽本線青森駅より車で約10分



02

迫力満点! 雪を蹴散らし走る列車

豪快に雪を飛ばしながら進む弘南鉄道除雪車両「ラッセル車」。運が良ければ、雪をかけ走る雄姿を見られるかも。

弘南鉄道ラッセル車
こうなんてつどうラッセルしゃ
☎ 0172-44-3136 (弘南鉄道)



04

文豪・太宰治の生家を訪ねて

津軽の大地主の息子として生まれた太宰治。青森ヒバを使い明治時代に建てられた生家が太宰治記念館「斜陽館」に。

斜陽館
しゃようかん
☎ 0173-53-2020 / 津軽鉄道金木駅より徒歩で約7分



05

青森の定番温泉でくつろごう

黒石市
電気のない秘湯で、夜はランプの灯りだけ。雪深い渓谷に響く湯けむりと静寂に癒される。
ランプの宿 青荷温泉
ランプのやど あおのんせん
☎ 0172-54-8588 / 弘南鉄道黒石駅よりバスで約40分



亞炭層を通して湧出する温泉で、その色の黒さが特徴。天然保湿成分をたっぷり含み、肌に潤いを与える。

東北温泉 とうほくおんせん
☎ 0175-63-3715 / 青い森鉄道乙供駅より徒歩で約5分



津軽半島の最北端、龍飛崎の高台には天然温泉が。夜には海峡を渡る大型船の灯りや星空が照らす。

龍飛崎温泉 たつべきおんせん
☎ 0174-38-2011 (ホテル竜飛) / JR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅よりわんタクフリー便で約40分

06

ICE CAVE 2024年
40.5×36.5×30cm
木セメント
撮影:瀬原界

十和田市

ICE CAVE 2024年
40.5×36.5×30cm
木セメント
撮影:瀬原界

冬の定番グルメも 余すところなく

07

タクシーでめぐる 旬の鮟鱇と海辺の温泉郷

青森県は全国でもトップクラスの鮟鱇の水揚量を誇り、旬は11月晚秋～初春。下北半島の名物で、冬

は鍋にあん肝に。そんな鮟鱇づくしの定食と下風呂温泉「海峡の湯」をタクシーでめぐるツアーを実施。食と温泉を同時に楽しめる下北ならではの冬のプログラム。



本州最北・海辺の温泉郷と活鮟鱇づくし旅

ほんしゅうさいほく・うみべのおんせんきょうと
かつあんこうづくしたび
☎ 0175-31-1270 (しまきたツーリズム) / JR大湊線下北駅集合

風間浦村

08



ホタテにマグロ、市場で好きな具材を選びご飯にのせて自分だけの丼を作ろう。

青森市

青森のつけ丼
あおもりのつけどん
☎ 017-763-0085 (青森魚菜センター) / JR奥羽本線青森駅より徒歩で約5分

09



日本一のりんごの生産量を誇る弘前だけにアップルパイも多種多様。

弘前市

アップルパイ
アップルパイ
☎ 0172-37-5501 (弘前市立観光館) / 弘前市街地中心に各店舗で提供

10



寒さが増す旨みを増す横浜町のなまこ。年に数時間しか漁が許されないレアもの。

横浜町

横浜なまこ
よこはなまこ
☎ 0175-78-2111 (横浜町役場)

11



太く甘い南部太ネギ、菊の花を丸めた「菊ポール」をあつあつ鍋で。

南部町

南部太ネギと菊ポールの鶏鍋
なんぶとねぎときくボールのとりなべ
☎ 0178-76-1001 (南部町農林漁業体験実習館チエリウ) / 平内町の飲食店で提供 ※漁の状況により提供できない場合あり

12



全国屈指の生産量を誇る平内のホタテ。刺身も焼き物も御膳で一度に味わえる。

平内町

平内ホタテ活御膳
ひらないホタテかつごぜん
☎ 017-755-2118 (平内町役場)
水産商工観光課 / 平内町の飲食店で提供 ※漁の状況により提供できない場合あり

直売所や道の駅で青森の定番グルメを見つけよう!



藤崎町

特産の生鮮品やりんごを使用した加工品が並ぶ。併設カフェのスープカレーも人気。

ふじさき食彩テラス

☎ 0172-65-3660 / JR奥羽本線北常盤駅より徒歩で約10分



今別町

北海道新幹線の奥津軽いまべつ駅直結。津軽海峡の玄関口として海の幸や郷土料理も堪能できる。

道の駅いまべつ 半島プラザアスクル

☎ 0174-31-5200 / JR北海道新幹線奥津軽いまべつ駅直結



蓬田村

陸奥湾を望み、名物のトマトだけでなく新鮮な農産物や加工品が揃う。

よもぎた物産館マルシェよもぎた

☎ 0174-31-3040 / JR津軽線蓬田駅より車で約5分



馬肉ラーメンや地元野菜が人気。敷地内には鷹山宇一記念美術館が隣接。

道の駅しづのへ

☎ 0176-62-5777 / JR東北新幹線七戸十和田駅より徒歩で約5分



六戸町産マーブルシロップを使ったスイーツや加工品をはじめ、町の特産品や農作物を販売。

道の駅ろくのへ
「マイブルふれあいセンター」

☎ 0176-55-4134 / JR東北新幹線八戸駅よりバスで約20分

13



鹿部町の定番
「たらこ」を食べるなら「浜のかあさん食堂」へ

函館山 はこだてやま
☎ 0138-23-3105 (函館山ロープウェイ) / 市電十字街電停より徒歩で約10分

函館市

世界に誇る
三大夜景のひとつ

標高334mの山頂から望む夜景は「100万ドルの夜景」と称される絶景。冬は澄んだ空気でいっそう輝きを増す。



マグ女のセイカン博覧会

旅館の女将、旅行会社のブランナーなど青森と道南のパワフルな女性が集まった津軽海峡マグロ女子会。津軽海峡エリアを周遊する寄り道旅を提案。

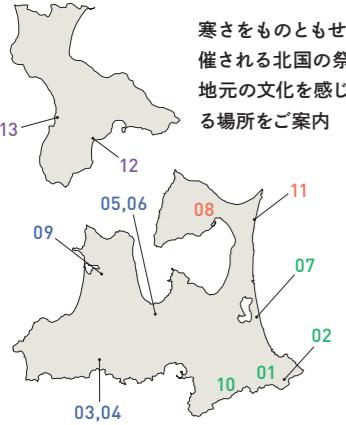


ツガルカイセン

青森県と北海道で漁獲される新鮮な海産物を題材としたキャンペーン。サイトではこれまで取り上げた海産物や、それら食材を食べられるお店を紹介中。



冬でも熱い 北国が誇る 祭りと文化



寒さをものともせぬ開催される北国の祭りや、地元の文化を感じられる場所をご案内



01

春を呼ぶ豊作祈願の舞

八戸えんぶりは、国の重要無形民俗文化財に指定される青森県を代表する冬の祭り。毎年2月、八戸市街に太鼓や笛の音が響き渡り、鳥帽子をかぶった舞手たちが田植えの所作を模した舞を披露する。その起源は鎌倉時代にまで遡るとされ、農耕儀礼として五穀豊穣を祈ったのが始まり。特に「太夫」と呼ばれる舞手は勇壮かつ莊厳で、雪のまちに熱気を呼び込むかのよう。子どもたちによるかわいらしい舞や、祝い唄もあり、まち全体が春を待ち望む心をともにする。冬の寒さの中に宿る“祈りと喜び”が、観る人の胸を温めてくれる伝統行事。

02

町に春を告げる 郷土芸能

八戸えんぶりの流れを汲む冬祭り。勇壮な舞や祝い唄が披露され、まちに春を呼び込む。



階上えんぶり はしかみえんぶり
☎ 0178-88-2709 (わっせ交流センター) / わっせ交流センター JR八戸線階上駅より車で約15分

03

津軽文化を 体感しよう

弘前ねぶたのお囃子や津軽三味線生演奏を楽しめる。金魚ねぶたの絵付けなどの体験コンテンツも豊富。



津軽藩ねぶた村 つがるはんねぶたむら
☎ 0172-39-1511 / JR奥羽本線弘前駅より車で約10分

04

NEPUTA sa KADARE ネブタ サ カダレ
☎ 0172-40-4082 (弘前かだれ劇場) / 津軽弘前屋台村
かだれ横丁 JR奥羽本線弘前駅より徒歩で約10分



津軽の伝統や文化に触れる、体験コンテンツ



西目屋村

薄いブナ材で作られる曲線美と風合いを持つ木工品「ブナコ」。工場で製作体験や買い物も可能。

ブナコ西目屋工場
ブナコにじめやこうじょう
☎ 0172-88-6730 / JR奥羽本線弘前駅より車で約30分

青森市

色鮮やかな青森県の伝統工芸品・津軽びいどろ。直営店併設の工房は見学可能(要予約)。

北洋硝子
ほくようがらす
☎ 017-782-5183 / JR奥羽本線青森駅より車で約15分

黒石市

黒石のねぶたで実際に使ったねぶた絵を使って灯ろう作りに挑戦。

IRODORI
イロドリ
☎ 0172-55-6188 / 弘南鉄道黒石駅より徒歩で約10分

弘前市

模様がかわいらしいごん刺しのさまざまな商品が購入可能。ワークショップの開催は要問い合わせ。

弘前こぎん研究所
ひろさきこぎんけんきゅうしょ
☎ 0172-32-0595 / JR奥羽本線弘前駅より車で約15分

板柳町

りんごの資料館や工芸体験ができる4つの工房、ふるさと温泉や宿泊できるコテージも。

板柳町ふるさとセンター
いたやなぎまちふるさとセンター
☎ 0172-72-1500 / JR五能線板柳駅より徒歩で約15分



05

レトロな温泉街で 夏の熱狂をふたたび

期間中の毎週土曜日に温泉街を練り歩く「冬ねぶた」を開催するほか、ねぶた鑑賞ツアーや巨大金魚ねぶたの製作ワークショップなどを実施。

青森市
浅虫ねぶた 冬の陣
あさむしねぶた ふゆのじん
☎ 017-752-1031 (浅虫温泉共同予約センター) / 青い森鉄道浅虫温泉駅より徒歩すぐ * 2026年1月24日~2月22日



08

農村に伝わる素朴な歌舞伎

明治時代に江戸の歌舞伎役者により伝承されたという奥内歌舞伎。町ぐるみで保存活動をしており、新春歌舞伎が1月に行われる。

むつ市
奥内歌舞伎 おくないかぶき
☎ 0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課) / 下北文化会館 JR大湊線下北駅より車で約5分 * 2026年1月下旬予定



11

地域に息づく 芸能の競演

冬に開催される郷土芸能発表会。現在まで伝承されている多彩な郷土芸能が披露され、その歴史を感じられる。

東通村
東通村郷土芸能保存連合会発表会
ひがしどおりむらきょうどういのうほぞんれんごうかい
☎ 0175-27-2111 (東通村役場) / 東通村体育館 JR大湊線下北駅より車で約80分 * 2026年1月10日

北前船の町に春を告げる 雛祭り

江差の商家や旧家に代々伝わる雛人形を町中に展示。歴史ある町並みと華やかな人形が織りなす春の催し。

江差町
江差・北前のひな語り
えさし・きたまえのひなかたり
☎ 0139-52-0531 (江差商工会内江差町歴まち商店街協同組合) / JR北海道新幹線木古内駅より車で約60分 * 2026年2月上旬~3月上旬



13

1年中ねぶたの 熱狂を体験

実際に運行した大型ねぶたを展示するミュージアム。ハネト体験などのイベントもあり、冬でも青森ねぶたを体感。

青森市
ねぶたの家 ワ・ラッセ
ねぶたのいえ ワ・ラッセ
☎ 017-752-1311 / JR奥羽本線青森駅より徒歩すぐ



06

前衛芸術家の世界に触れる

演劇・映画・詩など多方面で活躍した寺山修司の記念館。机の引出の中に隠された寺山作品を探す体験型展示が名物。

三沢市
三沢市寺山修司記念館
みさわしてらやましゅうじきねんかん
☎ 0176-59-3434 / 青い森鉄道三沢駅より車で約17分



09

笑いと風刺が光る 津軽人形芝居

明治期に生まれた伝統人形劇。津軽弁で繰り広げられるユーモアで、今も観客の心をつかむ。

中泊町
金多豆藏人形劇場
きんだまめじょにんぎょうげきじょう
☎ 0173-58-3573 - 090-8788-5698 (主宰者・木村巖)
/ 津軽鉄道津軽中里駅構内



10

遡れば江戸時代。まるける日で運試し

起源は南部藩のころ。「まるける日」では町をあげてさまざまなお店で大サービス! キッキンカーや屋台も出てお祭り騒ぎ。

三戸町
まるける日 まるけるひ
☎ 0179-20-1111 (三戸町役場) / 三戸町町内 青い森鉄道三戸駅より車で約10分
* 2026年2月上旬予定



道南
木古内町
寒中みそぎ祭り
かんちゅうみそぎまつり
☎ 0139-2-6-7357 (木古内町観光協会) / JR北海道新幹線木古内駅より徒歩で約10分 * 2026年1月13日~15日

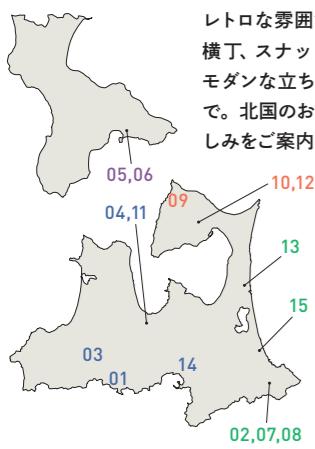
12

嚴冬の海で身を清める 勇壮神事

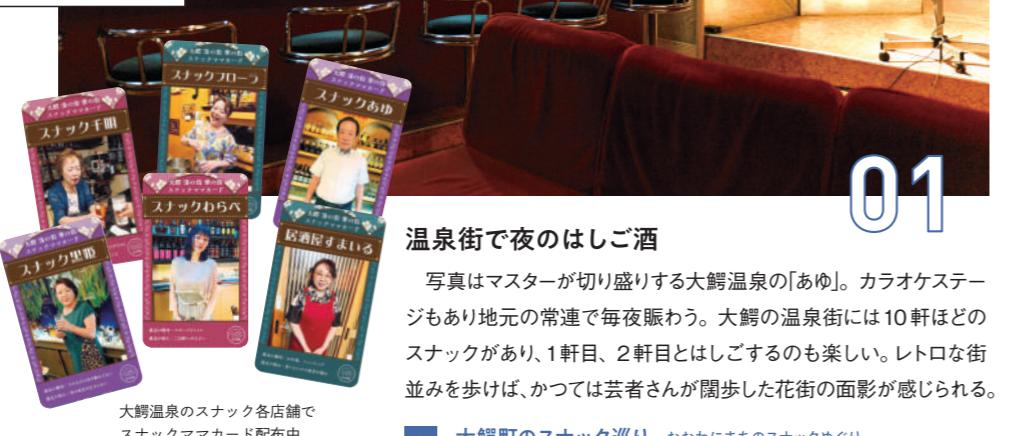
毎年1月に行われる伝統行事。4人の青年が海へ入り御神体を清める姿は、木古内の冬を象徴する勇壮な祭り。

ほろ酔いで もう1軒

旅先ではしご酒



レトロな雰囲気漂う横丁、スナックからモダンな立ち飲みまで。北国のお酒の楽しみをご案内



港町を遊覧しながら1杯

八戸港をめぐる屋形船。新鮮な魚介料理を肴に地酒を楽しみ、港町の夜景を堪能できる人気の船上酒場。



05

北海道最大級の屋台村へ

海鮮料理や炉端焼き、ジンギスカンにラーメン、串焼きなどなど。個性豊かな26店舗が建ち並び、毎夜地元客も観光客も肩寄せ合って賑わう人気の横丁。

函館ひかりの屋台 大門横丁 はこだてひかりのやたい だいもんよこちょう
0138-24-0033 (はこだてティーエムオーナー)
JR函館本線函館駅より徒歩で約5分



06

函館ひかりの屋台 大門横丁 はこだてひかりのやたい だいもんよこちょう

0138-24-0033 (はこだてティーエムオーナー)
JR函館本線函館駅より徒歩で約5分

函館ひかりの屋台 大門横丁 はこだてひかりのやたい だいもんよこちょう
0138-24-0033 (はこだてティーエムオーナー)
JR函館本線函館駅より徒歩で約5分

温泉街で夜のはしご酒

写真はマスターが切り盛りする大鰐温泉の「あゆ」。カラオケステージもあり地元の常連で毎夜賑わう。大鰐の温泉街には10軒ほどのスナックがあり、1軒目、2軒目とはしごするのも楽しい。レトロな街並みを歩けば、かつては芸者さんが闊歩した花街の面影が感じられる。

大鰐町のスナック巡り おおわにまちのスナックめぐり
0172-48-2335 (大鰐町商工会内大鰐温泉商店会) / 弘南鉄道大鰐駅より徒歩で約8分



弘前シードルを飲み比べ!

弘前れんが倉庫美術館併設のカフェでは、シードルの飲み比べセットを提供。倉庫をリノベした店内は雰囲気も抜群。

cafe & shop BRICK
カフェ アンド ショップ ブリック
0172-40-2775 / JR奥羽本線弘前駅よりバスで約10分
(中土手町下車徒歩で約4分)



03

青森の地酒を気軽に堪能

豊盃をはじめ地酒が揃う「さとう」店内には角打ちカウンターが。日本酒の飲み比べセットもあり、しっかり工夫と手間をかけた絶品おつまみも。

地酒庵 さとう じざけあん さとう
017-722-3087 / JR奥羽本線
青森駅より徒歩で約5分



04

函館の風土が育む極上ワイン

フランスの名門と函館の自然が出会い誕生したワイナリー。見学や食事を通じて本格的な味わいを楽しめる(要予約)。

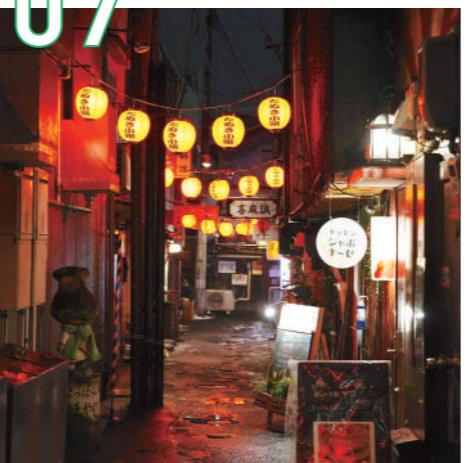
ド・モンティーユ&北海道ワイナリー
ド・モンティーユアンド ほっかいどうワイナリー
0138-83-8580 / JR函館本線桔梗駅より車で約10分



06

函館ひかりの屋台 大門横丁 はこだてひかりのやたい だいもんよこちょう
0138-24-0033 (はこだてティーエムオーナー)
JR函館本線函館駅より徒歩で約5分

07



08

どこでか市場で飲んで食べて

市場に並ぶ海鮮をその場で焼いて食べられる「七厘亭」が人気。ビールや地酒と相性抜群のグルメが揃う。

八食センター
はっしょくセンター
0178-28-9311 / JR東北新幹線
八戸駅よりバスで約15分



人情と美味が詰まった横丁街

8つの横丁がある八戸の中心街。ポップなお店もディープなお店も、気分に合わせてはしご酒。

八戸横丁 はちのへよこちょう
0178-72-3311 (八戸横丁連合協議会) / JR八戸線
本八戸駅より徒歩で約10分



マグロ漁師とめぐる大間の夜

マグロの町・大間を夜に歩く観光ツアーを実施中。しかもガイドはマグロ漁師。地元居酒屋を巡り、北の港町の人情とグルメを体感。



温泉街で生まれたクラフトビール

温泉街に併むモダンな醸造所併設のビアパブ。自社ビールを4~6種常時提供。風呂上がりにぴったりの飲み口キレイなビールは食事にも寄り添う。

螢火醸造 けいかじょうぞう
017-764-6920 / 青い森鉄道浅虫温泉駅より
徒歩で約5分



六趣醸造工房
ろくしゅじょうこうぼう
0175-71-3335 / 青い森鉄道野辺地駅
より車で約40分

11



12

下北の風土が育むワイン

ぶどう栽培から醸造まで自社で一貫製造。雪国ならではの酸味豊かなワインの試飲も可能。

サンマモルワイナリー
サンマモルワイナリー
0175-42-3870 / JR大湊線大湊駅より車で約30分



南部杜氏が醸す伝統の地酒
ろくしゅじょうこうぼう
0178-52-2241 / JR東北
新幹線八戸駅より車で約20分

13



「種差×世界」の料理で乾杯!

種差海岸天然芝生地周辺で
12月~2026年3月に月1回、八戸の人気店が集まつた野外イベントを開催!



八戸市
「種差×世界」のバル
0178-38-8420 (ACプロモート) / JR八戸線種差海岸駅より徒歩で約3分



下北の夜を彩る横丁文化

下北半島の総鎮守・田名部神社近くに広がる神社横丁。下北ならではの酒と肴を楽しめる。

むつ市
神社横丁 じんじゃよこちょう
0175-22-1111 (むつ市観光・シティプロモーション課) / JR大湊線下北駅より車で約10分



渓流の恵みで造るビールを嗜む

併設されている醸造所で造った奥入瀬ビールを飲める直営レストラン。県産食材を使った料理や特に店内で焼いたピザがおすすめ。

十和田市
奥入瀬ビール ブルワリー アンド レストラン
おいらせビール ブルワリー アンド レストラン

0176-27-1317 / JR東北新幹線七戸十和田駅より車で約40分



桃川酒造
ももかわしゅぞう
0178-52-2241 / JR東北
新幹線八戸駅より車で約20分

おいらせ町
桃川酒造
ももかわしゅぞう
0178-52-2241 / JR東北
新幹線八戸駅より車で約20分



14

15

絶景を
満喫!

JOYFUL TRAIN

リゾート列車で旅する東北

八戸線

TOHOKU EMOTION

列車全体がレストラン空間の東北レストラン鉄道

TOHOKU EMOTIONは、車窓に広がる三陸の海を眺めながらゆっくりとお食事を楽しんでいただける「東北レストラン鉄道」です。東北の食材を使ったオリジナルメニューなど、味覚だけでなく視覚も刺激してくれます。受け継がれてきた美食と絶景を、心ゆくまでご堪能ください。



TOHOKU EMOTION

アミューズ



ヴィアンド



デザート



大湊線

「ひなび下北」

日常を離れ 地域とつながる
ゆったり鉄道の旅



八戸～大湊間で運行中！

2026年1月中旬～2026年3月下旬は、
車両検査のため、運行しません。



五能線

リゾートしらかみ



リゾートしらかみ「檜」編成

※列車の運行状況など詳しい情報はJR東日本「のってたのしい列車ポータル」サイトをご覧ください

白神山地の山々と日本海が
車窓に広がる

世界自然遺産の白神山地の麓、風光明媚な日本海沿いの五能線を走る「リゾートしらかみ」。「青池」「撫」「くまげら」の3編成が運行されており、開放感ある車内から雄大な白神山地や、夕陽が沈む日本海など美しい風景をのぞめます。「撫」編成の内装にはシンボルツリーの撫をはじめ、天然秋田スギ、青森ヒバなど沿線の木材をふんだんに使っており、大自然を感じながらの旅を楽しめます。

モバイルオーダー
「ごのたび
(うけとりっぷ)」

このサービスは、お客様ご自身のスマートフォン等で事前にお弁当やスイーツをご注文いただき、ご乗車当日に駅のホームなどで商品を受け取っていただく、新しい列車旅のカタチです。



◀ 詳しくはこちら

おトクに巡れるフリーパスをチェック！

津軽エリアのJR線・弘南鉄道・津軽鉄道・弘南バスの一部路線が乗り放題の「津軽フリーパス」をはじめ、東北地方のおトクなきっぷ情報は右の二次元コードから！



東北の
おトクなきっぷ

JR東日本「のってたのしい列車ポータル」サイト

TOHOKU EMOTION、リゾートしらかみ、ひなび下北の運転日、時刻など詳しい情報はこちらから



のってたのしい
列車

お土産にお買い物、グルメが楽しめる 駅からすぐ！なスポットをご紹介！



青森駅 A-FACTORY

青森の地元食材を使ったスイーツやりんごのお酒シードルが楽しめる複合施設。2025年12月には開業15周年を迎える。

【営業時間】10:00～19:00
【住所】青森県青森市柳川1-4-2
【電話番号】017-752-1890



青森駅 ラビナ・& LOVINA

デザイン性の高い工芸品や、パッケージが素敵なお酒など、気の利いたお土産も揃う青森駅の駅ビル。飲食店も11店舗でバラエティ豊か。

【営業時間】10:00～20:00
【飲食ソーン】21:00まで
【住所】青森県青森市柳川1-2-3
【電話番号】017-734-1211



新青森駅 あおもり旬味館

JR東北新幹線の新青森駅の駅ナカ施設。出発前の腹ごしらえにちょうど良い飲食店はもちろん、車内で食べたいお弁当、お土産はこちらで。

【営業時間】9:00～20:00
【飲食ソーン】21:00まで
【住所】青森県青森市石江高間140-2
【電話番号】017-752-6557



弘前駅 アプリーズ

弘前駅の駅ビルで、ファッショニアイテムやカフェだけでなく、弘前をはじめとする青森特産品のお土産も充実。お酒の品揃えもなかなか。

【営業時間】10:00～20:00
【住所】青森県弘前市表町2-11
【電話番号】0172-36-2231

※一部営業時間の異なる店舗がございます。